

よいことの
ために
手を取りあおう



Weekly Bulletin

UNITE FOR GOOD

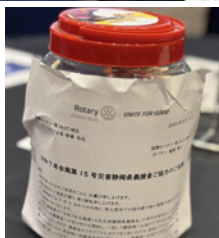
よいことのために手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

静岡ロータリークラブ ●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/児玉 俊明 ●副会長/坂上 康 ●幹事/川崎 裕司 ●副幹事/山本 芳司・瀧上恵美子

2025-2026 9月29日 ☀ 第3751回例会

ゲスト卓話「「しずおか映画祭」開催に向けて」



●ロータリーソング●



ソングリーダー
谷本 宏太郎君

●ビジター紹介●

静岡東ロータリークラブ 岩永 修平様
横山会員のご令嬢 横山 友紀様

●会長挨拶●

会長 児玉 俊明 君
3週間ぶりの例会です
が、この間にいろいろな
イベントがありました。
まずは9月12日に浮月
楼で観月会、9月20日



●ゲスト紹介●

BLUE LABEL 俳優 静岡映画祭実行委員会代表
磯村 勇斗様
(株)スターサンズ 長井 龍様
磯村勇斗様マネージャー 中里 泉美様

は静大特別支援学校秋祭りでした。9月23日には志田邸で新入会員様懇親バーベキューが行われました。最後に9月24日に歴代幹事会が「とみ井」で行われました。それぞれご参加いただいた方ご協力いただいた方、ありがとうございました。

それでは「児玉's ストーリー PART 4」です。カナダでの後半の舞台はオンタリオ州オシャワという町です。私が働いていた「ウィンドフィールドファーム」はその当時北米 NO. 1 と言われていた競走馬の牧場でした。そこで私は馬房掃除とかの厩務員の仕事だけでなく、1歳馬の調教もさせていただきました。ここで乗馬の経験が役にたったわけですが、カナダ人、アメリカ人の男性は体が大きく、小柄な1歳馬の調教には向いておらず、調教チームには比較的小柄な女性が多くその点もとても良かったです。生まれて初めて「鞍」をつける馬などはこれから何をされるの解らず反応も様々で、「鞍付」だけで結構時間がかかりました。そこから騎乗して集団で駆け足で馬場を周回できるようにし、最後はゲートインができるようになるまで調教しました。

●●●●年1月3日に母から手紙が届き父は胃癌で入院し「あまり長くない」とのことでした。翌日牧場長のプール氏に話したところすぐに帰りなさいと言ってくれたのでいったん帰国しました。帰国後1か月ほど看病し、2月半ばに父が他界、葬儀を済ませて3月初めにカナダに戻りました。そしてお世話になった方々や馬にお礼すべく種付けシーズンと調教シーズンが終わるまで「ウィンドフィールドファーム」で働きました。

カナダでの2年半は私の青春の1ページただけでなくどんなところでも働いていけるという自信をくれました。私はこの思い出を大事にし、これからも生きていこうと思って

います。以上 PART 4 でした。

稲葉ガバナーより「令和7年台風15号災害 静岡県義援金」のご協力のご依頼がきています。ご賛同いただける方はぜひご協力よろしくをお願いいたします。以上です。

●委員会報告●

青少年奉仕委員会 杉本 忠重君

9月20日に「静大特別支援学校秋祭り」に参加してまいりました。児玉会長、宇田川さんとみ井さん鈴木さん谷本さんローターアクト



の方々と協力ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

社会奉仕委員会 山田 知広君

10月24日の「世界ポリオデー」に合わせまして、10月20日の例会は社会奉仕担当例会として地区の委員の方に起こしいた



での卓話を予定しております。また、例会終了後、1時45分頃から3時頃まで青葉通りと呉服町の交差点で募金活動を予定しています。ぜひ皆様のご参加をお願いいたします。

●幹事報告●

12月6日、7日伊豆市の「伊豆ペロドローム」で地区大会が開催されます。こちらの申し込み期限が10月19日となっております。参加を希望される方は早めの申し込みをお願いいたします。現在参加予定の方は14名となっております。皆様の奮ってのご参加お待ちしております。

●おめでとう●

【誕生日お祝い】

●月●●日 井村 孝二さん

●月●●日 鈴木 僚さん

●月●●日 中村 光太郎さん

●月●●日 水上 房吉さん

【結婚記念日】

●月●●日 番匠 俊之さん・美知代さん

●月●●日 谷口 芳浩さん・陽子さん

●スマイル●

松崎 至宏君

「誕生日のお祝いありがとうございます。何とか元気で出席できることを感謝しています。」

水上 房吉君

「誕生日のお祝いありがとうございました。家族で食事に行ってきました。ただ●●歳になり、運転免許証の更新に認知症の検査がありました。正直もう年はとりたくありません。だめでしょうか？」

井村 孝二君

「お誕生日のお祝いありがとうございました。●●歳になりました。折り返し頑張ります。」

番匠 俊之君

「結婚記念日のお花ありがとうございます。」

谷口 芳浩君

「結婚記念日にかわいらしいお花を贈っていただき、心から感謝申し上げます。●●周年・●●婚を迎えました。引き続き精進します！」

望月 啓行君

「先日名誉会員でもある、望月義弘の通夜・葬儀に多くの方に参列いただき、誠にありがとうございました。●●歳でした。ロータリー

歴●●年、お酒も飲んでいましたし、前日もラーメン屋に行ったということ。足は悪かったんですが、亡くなる直前まで元気でした。何より、「静岡ロータリー」が大好きで、ロータリーの品格を重視し、ロータリアンであることに誇りを持っていました。皆様には生前大変にお世話になり、お酒でご迷惑をかけたとおもいます。改めて皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。」

横山 泰久君

「本日は娘と一緒に例会に参加させていただきます。色々と勉強させていただきます。」

小林 武治君

「親睦委員会の皆様、観月会の運営お疲れ様でした。このスマイルは植田さんへのお詫びスマイルです。当日の受付で私のパートナーが植田さんに近づき、しきりに東京例会の時のお礼を申しておりました。が、その時受付にいた皆様から徐々にざわめきが。そうですドコモの小林さんと完ぺきに間違えていたのです。その後植田さんはジャズコンサートにも観月会にも来られなかったので夫婦で心配しています！それにしても私がロータリーで爪痕を残す前に彼女に先を越されるとは！」

満席スマイル

13番若林テーブル満席スマイルです。

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数*)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
9/29	109名	75名	34名	68.81%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

台風第15号災害静岡県義援金BOX 79,345円

● ゲ ス ト 卓 話 ●

BLUE LABEL 俳優

しずおか映画祭実行委員会代表

磯村 勇斗様

「しずおか映画祭」開催に向けて

私が映画と出会ったきっかけは子供のころ自宅にあったレーザーディスクです。両親が共働きだったこともあり、いろいろな映画をみて時間をつぶしていたところから映画と出会い、いつの間にか友達となり、今現在こうして俳優をやっているという状況です。このように考えると映画とは人の人生をも作っていってしまうような不思議な存在なのかなと感じています。さらに現在はサブスクなどが普及しており、自宅でスマホで手軽に好きな映画が見られるという大変便利な時代になっておりますが、私は映画館独特のあの空間というものが大好きで、あの映画館という暗闇で知らない者同士が10人、100人集まって同じ映画を見る、皆で同じ時間を共有するということに大きな魅力を感じています。観客同士なんの会話もしていないのに繋がっているような感覚になれる、それが映画館の持つ大きな力だなと思っています。それがさらに映画館から映画祭へと発展していったら繋がることのできる人たちの数は1000人、10000人、100000人と増えていき、大変多くの人たちと同じ空間を共有することができるのではないかと、イコールそれが街全体の賑わいにつながっていく、強いてはそれが観光であったり経済に大きな効果をもたらしていくものだと考えて、私は2年前に「しずおか映画祭」を立ち上げ、昨年の11月に私の出身地である沼津市にある市民文化センターで第1回目の映画祭を開催いたしました。客席数は1500人程度なんですけどチケットは即日完売し、屋外でのマルシェも含め当日は延べ3000人の来場者がありました。当日は4本の映画を上映しました。1本目は沼津市出身の原田真人監督の「わが母の木」の上映とトークショー、2本目は静岡出身の笹川監督が子供たちとワークショップをしながら作った作品「ありがとう2000」、3本目は私の親友でもある北村匠君が初監督をした「世界征

服やめた」のプレミア上映。4本目は静岡市、沼津市でロケをした「魚の子」の4本です。私はこの映画祭を通してこれから伸びていくであろう若いクリエイターだったり、若い俳優さんたちを応援していきたいと考えています。また、静岡にゆかりのある作品の上映も考えています。当日は本当にたくさんの方に集まっていただき屋外のマルシェでは地元沼津市の飲食店の皆様にも多数出店いただき大盛況でした。また当日は、県内外のたくさんの企業様からも協賛をいただきました。今後も私の地元である大好きな静岡県で、ぜひとも近いうちにこのような映画祭を企画・開催していきたいと考えていますが、将来の展望としては静岡全域を映画の街として打ち出しロケ地の提供も積極的に行い、聖地巡礼という形で静岡の観光にも貢献していきたいと考えています。そして最終的には大きな目標として静岡県内の小・中学生の映画鑑賞無料化を目指していきたいと考えております。この目標は非常に難しいことは承知していますが、映画に対する向き合い方、映画文化を皆様と一緒に盛上げていけば、いずれはまだまだどこもやったことのないことに挑戦できるのかなとも考えております。そのためにはこの「しずおか映画祭」をまずは10年続けていくという大きな目標に向かって進んでいきたいと思っております。私は本当に静岡が大好きなので、俳優として、映画を通して、エンタメを通して静岡を盛り上げたい、今後ずっと恩返しをしていきたいと考えています。そして、静岡の皆さんと静岡の街が未来に向けて、輝いていけたらそれだけで幸せだと考えております。

